

注3

大学番号：212

[平成28年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

届出

関西福祉科学大学 心理科学部 心理科学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人玉手山学園
平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 運営企画室

職名・氏名 室長 ナガイ 永井 ヨウイチ 洋一

電話番号 072-978-0088

（夜間） 072-942-0153

F A X 072-978-0377

e-mail ynagai@tamateyama.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

心理科学部

<心理科学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	15
6. 留意事項等に対する履行状況等	25
7. その他全般的事項	26
8. 別紙資料	29

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人玉手山学園

(2) 大学名

関西福祉科学大学

(3) 大学の位置

〒582-0026

大阪府柏原市旭ヶ丘3丁目11番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(エバタ ゲンジ) 江端 源治 (平成15年4月1日)		
学長	(ハッタ タケン) 八田 武志 (平成26年4月1日)		
学部長	(ヤマダ フミオ) 山田 富美雄 (平成28年4月1日)		
学科長等		(ヤマダ フミオ) 山田 富美雄 (平成28年4月1日)	変更理由：学科運営を円滑に行うため、学部長が学科長を兼務する。 変更年月日：平成28年4月1日 (28)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
心理科学部 心理科学科 学士(心理学)	文学関係	4年	110人	3年次 10人	460人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	110 (0) [0]		110 (0) [0]						0.85倍	
志願者数	209 (0) [0]	(-) [-]	159 (0) [0]	(-) [-]	() []	() []	() []	() []		
受験者数	208 (0) [0]	(-) [-]	154 (0) [0]	(-) [-]	() []	() []	() []	() []		
合格者数	197 (0) [0]	(-) [-]	148 (0) [0]	(-) [-]	() []	() []	() []	() []		
B 入学者数	104 (0) [0]	(-) [-]	85 (0) [0]	(-) [-]	() []	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A	0.94		0.77							

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	104 [-] (-)	- [-] (-)	85 [-] (-)	0 [-] (-)					・平成29年度2年次生には、 他学部からの転学部生1名を 含む(29)
2年次	/		100 [-] (-)	0 [-] (-)					
3年次	/		/						
4年次	/		/		/				
計	104 [-] (-)		185 [-] (-)						

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	104 人	5 人	平成28年度	5 人	0 人	就学意欲の低下(3名)、病氣療養(1名)、 経済事情(1名)	4.80 %
			平成29年度	0 人	0 人		
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成29年度 入学者	85 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人	-	0.00 %
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	0 人	平成30年度	人	人		%
			平成31年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	0 人	平成31年度	人	人		%
合 計	189 人	5 人					2.64 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<心理学部 心理科学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎教養	基礎ゼミナールⅠ	1前	2			±			1			兼21 兼6 授業運営体制の見直しに伴い担当教員を削除。現員で対応可能なため後任補充なし(29) 全学共通で授業を運営するため、担当教員を追加(28)
	基礎ゼミナールⅡ	1後	2			±			1			兼21 兼6 授業運営体制の見直しに伴い担当教員を削除。現員で対応可能なため後任補充なし(29) 全学共通で授業を運営するため、担当教員を追加(28)
	基礎ゼミナールⅢ	2前	2			5	±	2	±			専任教員退職の理由により、担当教員を変更(28)
	基礎ゼミナールⅣ	2後	2			6	1					
総合教養	総合教養Ⅰ-河内学-	1前		2		2						兼7 オムニバス
	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ-	1後		2		3			1			兼4 オムニバス
	総合教養Ⅲ-健康の世界-	1前		2								兼15 兼14 オムニバス 教育内容の充実を図るため、担当教員を追加(28)
	総合教養Ⅳ-栄養-	1後		2								兼14 オムニバス
基礎分野 言語	英語コミュニケーションⅠ	1前	2									兼9 兼3 全学共通で授業を運営するため、担当教員を追加(28)
	英語コミュニケーションⅡ	1後	2									兼9 兼3 全学共通で授業を運営するため、担当教員を追加(28)
	英語コミュニケーションⅢ	2前	2									兼9 兼3 全学共通で授業を運営するため、担当教員を追加(29)
	英語コミュニケーションⅣ	2後	2									兼9 兼3 全学共通で授業を運営するため、担当教員を追加(29)
	総合英語Ⅰ	1前		2								兼1
	総合英語Ⅱ	1後		2								兼1
	総合英語Ⅲ	2前		2								兼1
	総合英語Ⅳ	2後		2								兼1
	オーラルコミュニケーション	1前		2								兼1
	フランス語Ⅰ	1前		2								兼1
	フランス語Ⅱ	1後		2								兼1
	中国語Ⅰ	1前		2								兼1
	中国語Ⅱ	1後		2								兼1
	情報と伝達	情報処理学Ⅰ	1前	1								
情報処理学Ⅱ		1後	1									兼3
コンピュータサイエンス		2前		2								兼1
スポーツ 健康と	保健体育	1前		2								兼1
	体育実技	1後 1前・後		1								兼2 時間割編成上の都合により、後期のみ開講(28)
自然と科学	地理学	1後		2								兼1
	化学入門	1前		1								兼1
	基礎数学	1前		1								兼1
	生物学入門	1前		1								兼1
	物理学入門	1後		1								兼1
	基礎科学概論	1前		2								兼2 オムニバス
	生命科学概論	1前		2								兼2 オムニバス
	統計学	1後		1								兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎分野	人間と社会	哲学	1前	2							兼1	
		人間学	1後	2							兼1	
		倫理学	1後	2							兼1	
		心理学	1前	2			1					
		法学	1前	2							兼1	
		日本国憲法	1後	2							兼1	
		人権教育	1前	2							兼1	
		経済学	1前	2							兼1	
		政治学	1前	2							兼1	
		社会学	1後	2							兼1	
		国際関係論	1後	2							兼1	
		現代史	1後	2							兼1	
		外国史	1前	2							兼1	
		日本史	1後	2							兼1	
		外国語で親しむ心理学	2前	2					1		兼1	教育指導体制の充実及び見直しのため兼任教員を専任として新規採用(28)
		社会福祉概論	1前	2							兼1	
		人間関係論	2前	2							兼1	
	レクリエーション論	2前	2							兼1		
	疲労とストレスの科学	4前	2							兼1		
	キャリア教育	キャリアデザイン	2前	1							兼10 兼11	就任辞退に伴い担当教員を削除。現員で対応可能なため後任補充なし(29) オムニバス
心理の現場と症例理解		3後	1			1						
専門基礎科目 障がい関連科目 専門共通科目 精神保健福祉士科目	医学概論	2後		2		1						
	社会福祉学	3後	2							兼1		
	精神医学概論	3前		2		1						
	対人関係論	2後		2						兼1		
	肢体不自由者の心理、生理・病理	2後		2						兼1		
	広汎性発達障害総論	3前		2						兼1		
	特異的発達障害総論	3前		2						兼1		
	医学一般 I	1後		2		1						
	社会福祉原論 I	3前		2						兼1		
	社会福祉原論 II	3後		2						兼1		
	地域福祉論	2後		2						兼1		
	コミュニティワーク	3前		2						兼1		
	社会保障論 I	3前		2						兼1		
	社会保障論 II	3後		2						兼1		
	公的扶助論	3後		2						兼1		
	社会福祉行財政論	3前		2						兼1		
	医療ソーシャルワーク	2後		2						兼1		
	権利擁護と成年後見制度	3後		2						兼1		
	障害者福祉論 I	3前		2						兼1		
	精神医学 I	2前		2		1						
	精神医学 II	2後		2		1						
	精神保健学 I	3前		2						兼1		
	精神保健学 II	3後		2						兼1		
	社会福祉援助技術総論 I	1前		2						兼1		
	社会福祉援助技術総論 II	1後		2						兼1		
	精神保健福祉相談援助の基盤(専門)	2後		2						兼1		
	精神科リハビリテーション学 I	2前		2						兼1		
	精神科リハビリテーション学 II	2後		2						兼1		
	精神保健福祉援助技術各論 I	2前		2						兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門共通科目	精神保健福祉士科目	精神保健福祉援助技術各論Ⅱ	2後		2			1				兼1 就任辞退に伴い担当教員を変更(29)	
		精神保健福祉に関する制度とサービスⅠ	2前		2							兼1	
		精神保健福祉に関する制度とサービスⅡ	2後		2							兼1	
		精神障害者の生活支援システム	2前		2							兼1	
		精神保健福祉援助演習(基礎)	2前		2			1	1				昇任に伴い職位を変更(29)
		精神保健福祉援助演習(専門)Ⅰ	2後		2			1	1				昇任に伴い職位を変更(29)
		精神保健福祉援助演習(専門)Ⅱ	3後		2			1	1				昇任に伴い職位を変更(29)
		精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	2前		2			1	1				昇任に伴い職位を変更(29)
		精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	2後		2			1	1				昇任に伴い職位を変更(29)
		精神保健福祉援助実習指導Ⅲ	3前		2			1	1				昇任に伴い職位を変更(29)
		精神保健福祉援助実習指導Ⅳ	3後		1			1	1				昇任に伴い職位を変更(29)
		精神保健福祉援助実習	3通		4			1	1				昇任に伴い職位を変更(29)
専門科目	臨床心理コース 推奨科目	医療心理学	4後		2				1				
		障害児(者)心理学	2前		2		1						
		心理療法論Ⅱ	4前		2		1						
		心理臨床とイメージ	3後		2		1						
		心理臨床と面接	3後		2		1						
	現代心理コース 推奨科目	コミュニティ心理学	3前		2		1						
		産業・組織心理学	3後		2		1						
		消費者心理学	4前		2		1						
		神経心理学	3前		2							兼1	
		生理心理学	2前		2							兼1	
		調査方法論	3後		2		1						
		比較行動学	2後		2		1						
		マスメディア心理学	4後		2		1						
		コース共通科目	カウンセリング論	2前		2					1		
			学習心理学	2前		2							兼1
	家族心理学		3後		2		1						
	学校心理学		2後		2			1	1			専任教員退職の理由により、担当教員を変更(28)	
	環境心理学		3前		2		1						
	教育心理学		3後		2		1						
	健康心理学		2前	2			1						
	健康とスポーツの心理学		3後		2		1						
	行動分析学		3前		2					1			
	高齢者心理学		4後		2							兼1	
	児童心理学		2後		2			1	1			専任教員退職の理由により、担当教員を変更(28)	
	社会心理学		1後	2			1						
	人格(性格)心理学		1前	2			1						
	心身関係論		3後		2		1						
	心理アセスメント実習Ⅰ		3前	1			1		1			オムニバス	
	心理アセスメント実習Ⅱ	3後	1			1	1	1			オムニバス 専任教員退職の理由により、担当教員を変更(28)		
	心理学外書講読	3後		2		1					兼1 教育指導体制の充実及び見直しのため兼任教員を専任として新規採用(28)		
心理学概論	1前 4後	2			1					教育指導上、履修順序を見直し開講学期を変更(29)			
心理学基礎実験実習Ⅰ	2前	1			1	1				兼2 教育指導体制の充実のため、担当教員を追加(29) オムニバス			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目 コース共通科目	心理学基礎実験実習Ⅱ	2後	1			1	1				兼2	教育指導体制の充実のため、担当教員を追加(29) オムニバス
	心理学研究法Ⅰ	1後 1前	2			1						教育指導上、履修順序を見直し開講学期を変更(29)
	心理学研究法Ⅱ	2後		2		1						
	心理学史	4後		2		1						
	心理学実践領域実習Ⅰ	2後	1			1		1				オムニバス
	心理学実践領域実習Ⅱ	3前	1			1	1	1				専任教員退職の理由により、担当教員を変更(28) オムニバス
	心理統計法Ⅰ	1前 1後	2			1						教育指導上、履修順序を見直し開講学期を変更(29)
	心理統計法Ⅱ	2前	2				1					
	心理療法論Ⅰ	3後	2			1						
	ストレスマネジメント論	4前		2		1						
	精神分析学	3前		2		1						
	青年心理学	3前		2		1						
	中高年の臨床心理	4前		2		1						
	乳幼児心理学	2前		2		1						
	認知心理学	1後		2			1					
	発達心理学	1後 1前	2			1						教育指導上、履修順序を見直し開講学期を変更(29)
	発達臨床心理学	2前		2		1						
	犯罪心理学	4前		2		1						
	ポジティブ心理学	3前	2			1						
	臨床心理学	1前	2			1						
研究演習Ⅰ	3前	2			10	2 1 2	2 3 2				昇任に伴い職位を変更(29) 専任教員退職の理由により、担当教員を変更(28)	
研究演習Ⅱ	3後	2			10	2 1 2	2 3 2				昇任に伴い職位を変更(29) 専任教員退職の理由により、担当教員を変更(28)	
研究演習Ⅲ	4前	2			10	2 1 2	2 3 2				昇任に伴い職位を変更(29) 専任教員退職の理由により、担当教員を変更(28)	
研究演習Ⅳ	4後	2			10	2 1 2	2 3 2				昇任に伴い職位を変更(29) 専任教員退職の理由により、担当教員を変更(28)	

(注)・認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。

- ・設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
- ・授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。)
- ・「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 34	科目 118	科目 0	科目 152	科目 34 [0]	科目 118 [0]	科目 0 [0]	科目 152 [0]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						【該当なし】
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						【該当なし】
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

【該当なし】

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{152} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	【共用する学校】 関西女子短期大学 (収容定員：700人/面積基準： 7,000㎡) 関西福祉科学大学高等学校 (収容 定員：1,410人/面積基準：15,480 ㎡) 関西女子短期大学附属幼稚園 (収 容定員：495人/面積基準：3,160 ㎡) 学園総合体育館(別地) 所要時間：徒歩5分 距離：400 m ・平成28年3月校地・校舎等の変更 届出済み (28)		
	校 舎 敷 地	0㎡	44,930㎡	2,422㎡ 0㎡	47,352㎡ 44,930㎡			
	運 動 場 用 地	0㎡	5,976㎡	8,080㎡	14,056㎡			
	小 計	0㎡	50,906㎡	10,502㎡ 8,080㎡	61,408㎡ 58,986㎡			
	そ の 他	2,160㎡	33,961㎡	0㎡ 2,422㎡	36,121㎡ 38,543㎡			
	合 計	2,160㎡	84,867㎡	10,502㎡	97,529㎡			
(2) 校 舎	専 用	27,636㎡ 27,570㎡	5,643㎡	8,067㎡	41,346㎡ 41,280㎡	【共用する学校】 関西女子短期大学 ・平成28年3月校地・校舎等の変更 届出済み (28)		
	(26,990㎡) (27,252㎡)	(5,643㎡)	(8,713㎡) (8,385㎡)	(41,346㎡) (41,280㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	32室 33室	30室	46室 41室 39室	3室 4人 7人	0室 (補助職員 0人)	大学全体 ・講義室・実験実習室：講義室を 実験実習室に改修。短期大学使用 教室を大学実験実習室に改修 (29) ・補助職員：平成28年5月1日の雇 用実績に基づき変更 (28)	
	演 習 室							
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		講師は2名で1室		
	心理科学部 心理科学科			13 14 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部関連図書等は大学図書館所蔵 のみ。 大学・短大全体の共用分(心理科 学部関連図書を含む) 図書約127,700冊 約129,000冊 〔約7,000〕 〔約9,500〕 視聴覚資料5,800点 学術雑誌約1,200種 ・利用実績のない古い洋書及び視 聴覚資料(VHS)を廃棄する一方、 必要な図書等は計画通り購入して おり、修学に支障は生じない (29) ・新設学部に重点を置き、関連図 書を購入したため増加(28) ・機械・器具：新設学部に重点を おき、既設・新設実験室等に機 械・器具を購入したため増加 (29)
	心理科学部 心理科学科	20,377 [2,035] 20,226 [2,646] 19,244 [2,588] (20,227 [2,035]) (19,986 [2,646]) (18,884 [2,588])	20 [7]	5 [0]	1,133 1,117 (1,121) (1,093) (1,057)	887 869 (887) (869)	0 (0)	
	計	20,377 [2,035] 20,226 [2,646] 19,244 [2,588] (20,227 [2,035]) (19,986 [2,646]) (18,884 [2,588])	20 [7]	5 [0]	1,133 1,117 (1,121) (1,093) (1,057)	887 869 (887) (869)	0 (0)	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体(関西女子短期大学での 共用分を含む) <短大> 面積：442㎡ 閲覧座席数：80席 収容可能冊数：53,000冊 ・修学に支障のない範囲で、第2書 庫を実習室に転用したことによる (29)	
	1,173㎡ 1,246㎡		305席		102,000冊 111,000冊			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体 (関西女子短期大学での共用分含 む)		
	7,053㎡		テニスコート3面					

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費（電子ジャーナルの整備費含む） 共同研究費等は大学全体 ・図書購入費：新設学部に重点を置き、関連図書を購入したため増加（28） ・設備購入費：教育内容をより充実させるため、更新の前倒し、設備の追加購入を行ったことによる（29）
		教員 1 人当り 研究費等	500千円	500千円	図書購入費	2,752千円 2,667千円	2,317千円	
	共 同 研 究 費 等	9,500千円 8,000千円	8,000千円	設備購入費	776千円 600千円	3,152千円 600千円	600千円	
学生 1 人当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次		
	1,300千円	1,100千円	1,100千円	1,100千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金 等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学 の 名 称	関西福祉科学大学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
社会福祉学部								大阪府柏原市 旭ヶ丘3丁目 11番1号	平成28年度入学定員△40、 3年次編入△20 平成28年度より学生募集停 止（3年次編入学定員は平 成30年4月学生募集停止）
社会福祉学科	4	140	3年次 20	680	学士 (社会福祉学)	0.96	平成9年度		
臨床心理学科	4	—	3年次 20	180	学士 (臨床心理学)	0.57	平成15年度		
心理科学部									
心理科学科	4	110	—	220	学士 (心理科学)	0.85	平成28年度		
健康福祉学部									
健康科学科	4	80	3年次 10	340	学士 (健康科学)	0.99	平成15年度		
福祉栄養学科	4	80	3年次 5	330	学士 (福祉栄養学)	1.01	平成15年度		
保健医療学部									
リハビリテーション学科						1.05			
理学療法専攻	4	80	—	320	学士 (理学療法学)	1.03	平成23年度		
作業療法専攻	4	50	—	180	学士 (作業療法学)	1.16	平成23年度		
言語聴覚専攻	4	40	—	120	学士 (言語聴覚学)	0.94	平成27年度		
教育学部									
教育学科						0.80			
子ども教育専攻	4	50	—	100	学士 (教育学)	0.52	平成28年度		
発達支援教育専攻	4	50	—	100	学士 (教育学)	1.09	平成28年度		
平成28年度入学定員+10									
大学 の 名 称	関西福祉科学大学大学院								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
社会福祉学研究科								大阪府柏原市 旭ヶ丘3丁目 11番1号	
臨床福祉学専攻 (博士前期課程)	2	20	—	40	修士 (臨床福祉学)	0.20	平成13年度		
臨床福祉学専攻 (博士後期課程)	3	3	—	9	博士 (臨床福祉学)	0.44	平成15年度		
心理臨床学専攻 (修士課程)	2	10	—	20	修士 (心理臨床学)	0.75	平成15年度		

大学の名称	関西女子短期大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
保育学科	2	120	—	240	短期大学士(保育学)	1.00	昭和40年度	大阪府柏原市 旭ヶ丘3丁目 11番1号	平成28年度入学定員+20
養護保健学科	2	40	—	80	短期大学士(保健学)	1.07	昭和42年度		
歯科衛生学科	3	100	—	300	短期大学士(歯科衛生学)	1.16	平成17年度		
医療秘書学科	2	40	—	80	短期大学士(保健学)	1.10	平成23年度		平成28年度入学定員△20

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<心理科学部心理科学科>

(1) 担当教員表

認可時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月			
専	教授(学部長)	山田 富美雄(64)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅣ 産業・組織心理学 環境心理学 健康心理学 心理学概論 ストレスマネジメント論 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ	専	教授	相谷 登(57)	平成29年10月	基礎ゼミナールⅣ	専門分野ごとの開講クラス教調整のため担当教員を変更(29)
					専	教授(学部長)	山田 富美雄(65)	平成29年4月	基礎ゼミナールⅢ 心理学基礎実験実習Ⅱ※	専門分野ごとの開講クラス教調整のため担当科目を追加(29) 教育指導体制の充実のため、担当科目を追加(29)
専	教授	相谷 登(56)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 基礎ゼミナールⅢ 総合教養Ⅰ-河内学-※ 家族心理学 人格(性格)心理学 心理学史 犯罪心理学 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ			後任補充なし			授業運営体制の見直しに伴い担当科目を削除。現員で対応可能なため後任補充なし(29)
					専	教授(学部長)	山田 富美雄(65)	平成29年4月	基礎ゼミナールⅢ	専門分野ごとの開講クラス教調整のため担当教員を変更(29)
					専	教授	相谷 登(57)	平成29年10月	基礎ゼミナールⅣ	専門分野ごとの開講クラス教調整のため担当科目を追加(29)
							後任補充なし			
専	教授	栗村(佐野) 昭子(55)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅣ 心理アセスメント実習Ⅰ※ 青年心理学 中高年の臨床心理 臨床心理学 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ						
専	教授	宇恵 弘(51)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ 調査方法論 教育心理学 健康とスポーツの心理学 心理統計Ⅰ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ	専	教授	宇恵 弘(52)	平成29年4月	心理学基礎実験実習Ⅰ※	教育指導体制の充実のため、担当科目を追加(29)
専	教授	柏木 雄次郎(61)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅣ 総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ-※ 医学概論 精神医学概論 医学一般Ⅰ 精神医学Ⅰ 精神医学Ⅱ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ						
専	教授	亀島(最上) 信也(60)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ 総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ-※ 比較行動学 心理学研究法Ⅰ 心理学研究法Ⅱ 発達心理学 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ						

認可時の計画					変更状況					
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
専	教授	川上 範夫 (70)	平成28年4月	心理療法論Ⅱ 心身関係論 心理療法論Ⅰ 精神分析学 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ						
専	教授	櫻井 秀雄 (53)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅢ 総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ※ 障害児(者)心理学 心理臨床とイメージ 心理アセスメント実習Ⅱ※ 心理学実践領域実習Ⅰ※ 発達臨床心理学 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ	専	教授	谷向 みつえ (52)	平成29年10月	心理学実践領域実習Ⅰ※	教育指導上の教員配置見直しに伴い担当教員を変更(29)
専	教授	島井 哲志 (65)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅣ コミュニティ心理学 消費者心理学 マスメディア心理学 社会心理学 ポジティブ心理学 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ						
専	教授	谷向 みつえ (51)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅢ 総合教養Ⅰ-河内学-※ 心理の現場と症例理解 心理臨床と面接 心理学実践領域実習Ⅱ※ 乳幼児心理学 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ	専	教授	谷向 みつえ (52)	平成29年10月	心理学実践領域実習Ⅰ※	教育指導上の教員配置見直しに伴い担当科目を追加(29)
					専	准教授	久保 信代 (47)	平成28年4月		教育指導体制の充実及び見直しのため久保信代准教授を新規採用(28) 心理学外書講読 兼任から専任へ変更(28)
専	准教授	多田(鈴木) 美香里 (43)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅣ 心理学 心理学基礎実験実習Ⅰ※ 心理学基礎実験実習Ⅱ※ 心理統計法Ⅱ 認知心理学 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ						
専	准教授	渡部(神谷) 敦子 (42)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅢ 学校心理学 児童心理学 心理アセスメント実習Ⅱ※ 心理学実践領域実習Ⅱ※ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ	専	講師	竹橋 洋毅 (37)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅢ 学校心理学 児童心理学 心理アセスメント実習Ⅱ※ 心理学実践領域実習Ⅱ※ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ	平成28年3月、渡部(神谷)敦子の退職に伴い、竹橋洋毅を後任補充(28)
専	講師	木村 志保 (47)	平成28年4月	精神保健福祉援助演習(基礎) 精神保健福祉援助演習(専門)Ⅰ 精神保健福祉援助演習(専門)Ⅱ 精神保健福祉援助実習指導Ⅰ 精神保健福祉援助実習指導Ⅱ 精神保健福祉援助実習指導Ⅲ 精神保健福祉援助実習指導Ⅳ 精神保健福祉援助実習 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ	専	准教授	木村 志保 (48)	平成29年4月	精神保健福祉援助演習(基礎) 精神保健福祉援助演習(専門)Ⅰ 精神保健福祉援助演習(専門)Ⅱ 精神保健福祉援助実習指導Ⅰ 精神保健福祉援助実習指導Ⅱ 精神保健福祉援助実習指導Ⅲ 精神保健福祉援助実習指導Ⅳ 精神保健福祉援助実習 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ 精神保健福祉援助技術各論Ⅱ	昇任に伴い職位を変更(29) 平成29年3月、加納光子の就任辞退に伴い担当科目を追加(29)

認可時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
					専	講師	宿谷(金児)仁美(44)	平成28年4月		教育指導体制の充実及び見直しのため宿谷(金児)仁美講師を新規採用(28)
									外国語で親しむ心理学	兼任から専任へ変更(28)
					専	講師	竹橋 洋毅(37)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 基礎ゼミナールⅢ 学校心理学 児童心理学 心理アセスメント実習Ⅱ※ 心理学実践領域実習Ⅱ※ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ	全学共通で授業を運営するため、担当科目を追加(28) 平成28年3月、渡部(神谷)教子の退職に伴い、竹橋洋毅を後任補充(28)
					専	講師	竹橋 洋毅(38)	平成29年10月	心理学実践領域実習Ⅰ※	教育指導上の教員配置見直しに伴い担当科目を追加(29)
専	講師	津田 恭充(36)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅢ 総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ※ 医療心理学 カウンセリング論 行動分析学 心理アセスメント実習Ⅰ※ 心理学実践領域実習Ⅰ※ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ						
兼任	教授	綾木 仁(59)	平成28年10月	総合教養Ⅳ-栄養※						
兼任	教授	伊倉 宏司(68)	平成28年10月	総合教養Ⅳ-栄養※						
兼任	教授	遠藤 洋二(59)	平成30年4月	公的扶助論 社会福祉行政論						
兼任	教授	大川 尚子(54)	平成28年4月	総合教養Ⅲ-健康の世界※						
					兼任	教授	甲斐 悟(50)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ	全学共通で授業を運営するため、担当教員を追加(28)
兼任	教授	倉恒 弘彦(61)	平成28年4月	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ※ 総合教養Ⅲ-健康の世界※ 疲労とストレスの科学						
兼任	教授	齋藤 千鶴(63)	平成28年4月	社会福祉概論 地域福祉論	兼任	講師	鴻上 圭太(42)	平成28年4月	社会福祉概論	齋藤千鶴の就任辞退に伴い、担当教員を変更(28)
兼任	教授	相良 多喜子(68)	平成28年10月	総合教養Ⅳ-栄養※						
兼任	教授	志水 秀郎(57)	平成28年10月	総合教養Ⅳ-栄養※	兼任	教授	中村 敏子(60)	平成29年10月	総合教養Ⅳ-栄養※	平成28年9月、志水秀郎の退職に伴い担当教員を変更(29)
兼任	教授	杉本 敏夫(67)	平成28年4月	社会福祉援助技術総論Ⅰ 社会福祉援助技術総論Ⅱ	兼任	講師	杉本 敏夫(67)	平成28年4月	社会福祉援助技術総論Ⅰ 社会福祉援助技術総論Ⅱ	平成28年3月、退職に伴い、兼任に変更(28)
兼任	教授	田巻 義孝(72)	平成28年4月	総合教養Ⅲ-健康の世界※ 肢体不自由者の心理、生理・病理						
兼任	教授	津田 耕一(55)	平成28年10月	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ※ 障害者福祉論Ⅰ						
兼任	教授	都村(塩山) 尚子(55)	平成30年10月	権利擁護と成年後見制度						
兼任	教授	長見 まき子(58)	平成28年4月	総合教養Ⅲ-健康の世界※	兼任	教授	福田 早苗(44)	平成28年4月	総合教養Ⅲ-健康の世界※	教育内容の充実を図るため、担当教員を変更(28)
兼任	教授	袴田 俊一(61)	平成28年10月	人間学						
兼任	教授	八田 武志(70)	平成28年4月	総合教養Ⅲ-健康の世界※						
兼任	教授	林 龍平(63)	平成29年4月	学習心理学						
兼任	教授	平田 まり(65)	平成28年4月	総合教養Ⅲ-健康の世界※	兼任	教授	藤岡 弘季(45)	平成28年4月	総合教養Ⅲ-健康の世界※	平成28年3月、平田まりの退職に伴い、担当教員を変更(28)
兼任	教授	水鳥 正二郎(52)	平成28年4月	情報処理学Ⅰ 情報処理学Ⅱ 基礎数学 物理学入門						
兼任	教授	水間 智哉(49)	平成28年10月	総合教養Ⅳ-栄養※						
兼任	教授	峯松 正敏(50)	平成28年10月	総合教養Ⅳ-栄養※						
兼任	教授	宮野 安治(70)	平成29年4月	キャリアデザイン※			後任補充なし			平成29年3月、宮野安治の就任辞退に伴い担当科目を削除、現員で対応可能なため後任補充なし(29)
兼任	教授	村松 陽治(51)	平成28年10月	総合教養Ⅳ-栄養※						
兼任	教授	森 明彦(64)	平成28年4月	総合教養Ⅰ-河内学※ 人権教育 日本史	兼任	講師	森 明彦(65)	平成29年4月	総合教養Ⅰ-河内学※ 人権教育 日本史	平成29年3月、森明彦の退職に伴い兼任に変更(29)

認可時の計画					変更状況					
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
兼任	教授	森 禎章 (53)	平成28年4月	基礎科学概論※						
兼任	教授	安井 理夫 (58)	平成30年4月	社会福祉原論Ⅰ 社会福祉原論Ⅱ コミュニティワーク						
兼任	教授	山内 彰 (51)	平成28年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ 総合英語Ⅳ 総合英語Ⅰ キャリアデザイン※						
兼任	教授	山口 美和 (51)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 社会学						
兼任	教授	山本 真紀 (51)	平成28年4月	総合教養Ⅰ-河内学-※ 生物学入門 生命科学概論※						
兼任	教授	吉田 初恵 (56)	平成28年4月	総合教養Ⅰ-河内学-※ 経済学 キャリアデザイン※ 社会保障論Ⅰ 社会保障論Ⅱ	兼任	教授	吉田 初恵 (56)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ	全学共通で授業を運営するため、担当科目を追加(28)
兼任	教授	渡辺 正仁 (67)	平成28年4月	生命科学概論※ 化学入門						
兼任	准教授	有泉 みずほ (43)	平成28年10月	総合教養Ⅳ-栄養-※						
兼任	准教授	池上 徹 (45)	平成28年4月	総合教養Ⅲ-健康の世界-※ キャリアデザイン※	兼任	准教授	池上 徹 (45)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ	全学共通で授業を運営するため、担当科目を追加(28)
兼任	准教授	一村 小百合 (51)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ レクリエーション論						
兼任	准教授	加藤 美朗 (55)	平成28年4月	総合教養Ⅲ-健康の世界-※ 特異的発達障害総論						
兼任	准教授	木村 貴彦 (40)	平成28年4月	総合教養Ⅲ-健康の世界-※						
兼任	准教授	澤田 崇子 (54)	平成28年10月	総合教養Ⅳ-栄養-※						
兼任	准教授	治部 哲也 (45)	平成28年4月	総合教養Ⅰ-河内学-※ 総合教養Ⅳ-栄養-※ 統計学 生理心理学	兼任	准教授	治部 哲也 (45)	平成28年4月	総合教養Ⅲ-健康の世界-※	平成28年3月、藤原和美の退職に伴い、担当科目を追加(28)
兼任	准教授	鈴木 真 (43)	平成28年4月	哲学 倫理学	兼任	准教授	鈴木 真 (44)	平成29年4月	キャリアデザイン※	平成29年3月、柿木志津江の就任辞退に伴い担当科目を追加(29)
兼任	准教授	立花 直樹 (46)	平成29年4月	キャリアデザイン※	兼任	准教授	立花 直樹 (45)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ	全学共通で授業を運営するため、担当科目を追加(28)
					兼任	准教授	築地 典絵 (47)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ	全学共通で授業を運営するため、担当科目を追加(28)
兼任	准教授	寺田(田中)明代 (47)	平成29年10月	精神保健福祉相談援助の基盤(専門)		後任補充		平成29年10月		平成28年3月、寺田(田中)明代の退職に伴い、開講時まで後任補充予定(28)
					兼任	講師	御前 由美子 (56)	平成29年10月	精神保健福祉相談援助の基盤(専門)	平成28年3月、寺田(田中)明代の退職に伴い後任補充(29)
兼任	准教授	中島 裕 (51)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 総合教養Ⅰ-河内学-※ キャリアデザイン※ 医療ソーシャルワーク						
					兼任	准教授	新川 泰弘 (45)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ	全学共通で授業を運営するため、担当教員を追加(28)
					兼任	教授	島田 恭仁 (61)	平成29年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ	平成29年3月、新川泰弘の就任辞退に伴い担当教員を変更(29)
兼任	准教授	西元(山本)直美 (43)	平成29年4月	キャリアデザイン※	兼任	准教授	西元(山本)直美 (42)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ	全学共通で授業を運営するため、担当科目を追加(28)
兼任	准教授	野口 法子 (56)	平成28年4月	総合教養Ⅲ-健康の世界-※						

認可時の計画					変更状況					
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
兼任	准教授	馬場 耕造 (66)	平成28年10月	総合教養Ⅳ-栄養-※	兼任	准教授	坂口 充弘 (51)	平成29年10月	総合教養Ⅳ-栄養-※	平成29年3月、馬場耕造の退職に伴い担当教員を変更(29)
					兼任	准教授	廣島 玲子 (57)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ	全学共通で授業を運営するため、担当教員を追加(28)
兼任	准教授	藤原 和美 (57)	平成28年4月	総合教養Ⅲ-健康の世界-※	兼任	准教授	治部 哲也 (45)	平成28年4月	総合教養Ⅲ-健康の世界-※	平成28年3月、藤原和美の退職に伴い、担当教員を変更(28)
					兼任	准教授	寶田(上杉)玲子 (48)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ	全学共通で授業を運営するため、担当教員を追加(28)
兼任	准教授	堀田 千絵 (35)	平成28年4月	総合教養Ⅲ-健康の世界-※ 広汎性発達障害総論						
兼任	准教授	松中 久美子 (52)	平成28年4月	総合教養Ⅲ-健康の世界-※ 人間関係論 対人関係論						
兼任	准教授	松本 明美 (46)	平成28年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ 総合英語Ⅱ 総合英語Ⅲ						
兼任	准教授	山路 純子 (43)	平成28年4月	総合教養Ⅳ-栄養-※ 基礎科学概論※						
兼任	講師	家高 将明 (39)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ キャリアデザイン※	兼任	准教授	家高 将明 (40)	平成29年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ キャリアデザイン※	昇任に伴い職位を変更(29)
兼任	講師	小口 将典 (36)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ キャリアデザイン※	兼任	准教授	小口 将典 (37)	平成29年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ キャリアデザイン※	昇任に伴い職位を変更(29)
兼任	講師	柿木 志津江 (41)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ キャリアデザイン※	兼任	准教授	柿木 志津江 (41)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ キャリアデザイン※	昇任に伴い職位を変更(28)
					兼任	准教授	鈴木 真 (44)	平成29年4月	キャリアデザイン※	平成29年3月、柿木志津江の就任辞退に伴い担当教員を変更(29)
					兼任	講師	川村 小千代 (46)	平成28年4月	総合教養Ⅲ-健康の世界-※	教育内容の充実を図るため、オムニバスの担当教員を追加(28)
					兼任	講師	香田 健治 (50)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ	全学共通で授業を運営するため、担当教員を追加(28)
					兼任	講師	辻 陽子 (50)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ	全学共通で授業を運営するため、担当教員を追加(28)
					兼任	助教	塩津 裕康 (32)	平成29年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ	平成29年3月、辻陽子の就任辞退に伴い担当教員を変更(29)
					兼任	講師	鼓 美紀 (39)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ	全学共通で授業を運営するため、担当教員を追加(28)
					兼任	助教	中山 淳 (37)	平成29年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ	平成29年3月、鼓美紀の退職に伴い担当教員を変更(29)
兼任	講師	津吉 哲士 (43)	平成28年10月	総合教養Ⅳ-栄養-※						
兼任	講師	西村 節子 (58)	平成28年10月	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ※ 総合教養Ⅳ-栄養-※	兼任	准教授	西村 節子 (59)	平成29年4月	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ※ 総合教養Ⅳ-栄養-※	昇任に伴い職位を変更(29)
兼任	講師	松村 歌子 (40)	平成28年4月	総合教養Ⅲ-健康の世界-※ 法学 日本国憲法 キャリアデザイン※	兼任	准教授	松村 歌子 (40)	平成28年4月	総合教養Ⅲ-健康の世界-※ 法学 日本国憲法 キャリアデザイン※	昇任に伴い職位を変更(28)
					兼任	講師	森 尚彰 (42)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ	全学共通で授業を運営するため、担当教員を追加(28)
					兼任	講師	由利 禄巳 (51)	平成28年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ	全学共通で授業を運営するため、担当教員を追加(28)
兼任	講師	安藤 公一 (59)	平成28年10月	現代史						
兼任	講師	イアン・ハリス・キャンベル (57)	平成28年4月	オーラルコミュニケーション	兼任	講師	磯崎 恵子 (51)	平成28年4月	オーラルコミュニケーション	平成28年3月、イアン・ハリス・キャンベルの就任辞退に伴い、担当教員を変更(28)
					兼任	講師	新庄谷 洋子 (59)	平成29年4月	オーラルコミュニケーション	平成29年3月、磯崎恵子の就任辞退に伴い担当教員を変更(29)
兼任	講師	一柳(葛井)直子 (47)	平成28年4月	政治学 国際関係論						
兼任	講師	岩原 昭彦 (46)	平成30年4月	神経心理学						
兼任	講師	江端 源治 (57)	平成28年4月	総合教養Ⅰ-河内学-※ 総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ※						
兼任	講師	大江 篤 (55)	平成28年4月	外国史						

認可時の計画					変更状況								
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考			
兼任	講師	太田 直希 (27)	平成28年4月	保健体育	兼任	講師	山崎 英幸 (50)	平成28年4月	保健体育	平成28年3月、太田直希の就任辞退に伴い、担当教員を変更(28)			
				体育実技			兼任		講師	西川 潔 (59)	平成29年4月	保健体育	平成29年3月、山崎英幸の就任辞退に伴い担当教員を変更(29)
							兼任		講師	三村 達也 (49)	平成28年10月	体育実技	平成28年3月、太田直希の就任辞退に伴い、担当教員を変更(28)
兼任	講師	大又 巧也 (42)	平成28年4月	情報処理学Ⅰ 情報処理学Ⅱ コンピュータサイエンス	兼任	講師	大森 幸幸 (39)	平成28年4月	情報処理学Ⅰ 情報処理学Ⅱ	大又巧也の一部就任辞退に伴い、担当教員を変更(28)			
兼任	講師	尾崎 勝彦 (59)	平成31年10月	高齢者心理学									
兼任	講師	加納 光子 (72)	平成29年10月	精神保健学Ⅰ 精神保健学Ⅱ 精神保健福祉援助技術各論Ⅱ	兼任	講師	加藤 典子 (51)	平成28年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ	全学共通で授業を運営するため、担当教員を追加(28)			
					専	准教授	木村 志保 (48)	平成29年10月	精神保健福祉援助技術各論Ⅱ	平成29年3月、加納光子の就任辞退に伴い担当教員を変更(29)			
兼任	講師	木村 年晶 (43)	平成29年4月	心理学基礎実験実習Ⅰ※ 心理学基礎実験実習Ⅱ※	兼任	講師	川口 剛 (50)	平成28年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ	全学共通で授業を運営するため、担当教員を追加(28)			
					兼任	講師	川口 剛 (51)	平成29年4月	英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ	全学共通で授業を運営するため、担当科目を追加(29)			
兼任	講師	久保 信代 (49)	平成30年10月	心理学外書講読	専	准教授	久保 信代 (47)	平成28年4月	心理学外書講読	教育指導体制の充実及び見直しのため専任准教授として新規採用(28)			
兼任	講師	小林 和代 (51)	平成28年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ									
兼任	講師	佐伯(豊田)恵里奈 (41)	平成29年4月	心理学基礎実験実習Ⅰ※ 心理学基礎実験実習Ⅱ※									
兼任	講師	坂下 晃祥 (46)	平成29年4月	精神科リハビリテーション学Ⅰ 精神科リハビリテーション学Ⅱ	兼任	講師	辻 陽子 (51)	平成29年4月	精神科リハビリテーション学Ⅰ 精神科リハビリテーション学Ⅱ	平成29年3月、坂下晃祥の就任辞退に伴い担当教員を変更(29)			
兼任	講師	重野 勉 (60)	平成29年4月	精神保健福祉に関する制度とサービスⅠ 精神保健福祉に関する制度とサービスⅡ									
兼任	講師	宿谷(金児)仁美 (45)	平成29年4月	外国語で親しむ心理学	専	講師	宿谷(金児)仁美 (44)	平成28年4月	外国語で親しむ心理学	教育指導体制の充実及び見直しのため専任講師として新規採用(28)			
兼任	講師	関口 靖之 (58)	平成28年10月	地理学									
兼任	講師	高木 信良 (67)	平成28年4月	体育実技	兼任	講師	石川 美久 (37)	平成29年10月	体育実技	平成29年3月、高木信良の就任辞退に伴い担当教員を変更(29)			
兼任	講師	谷 寿夫 (64)	平成30年10月	社会福祉学									
兼任	講師	玉置 良行 (49)	平成28年4月	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ									
兼任	講師	中谷 聡 (41)	平成28年4月	情報処理学Ⅰ 情報処理学Ⅱ	兼任	講師	中戸 一子 (68)	平成28年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ	全学共通で授業を運営するため、担当教員を追加(28)			
					兼任	講師	中戸 一子 (69)	平成29年4月	英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ	全学共通で授業を運営するため、担当科目を追加(29)			
兼任	講師	正木(大又)みき (47)	平成28年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ	兼任	講師	波能 満 (62)	平成28年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ	全学共通で授業を運営するため、担当教員を追加(28)			
					兼任	講師	新庄谷 洋子 (59)	平成29年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ	平成29年3月、波能満の就任辞退に伴い担当教員を変更(29)			
					兼任	講師	藤原 由美 (39)	平成28年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ	全学共通で授業を運営するため、担当教員を追加(28)			
					兼任	講師	藤原 由美 (40)	平成29年4月	英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ	全学共通で授業を運営するため、担当科目を追加(29)			
兼任	講師	松浦 弘司 (68)	平成28年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ	兼任	講師	松浦 弘司 (68)	平成28年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ	全学共通で授業を運営するため、担当教員を追加(28)			
					兼任	講師	松浦 弘司 (69)	平成29年4月	英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ	全学共通で授業を運営するため、担当科目を追加(29)			

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	的場 輝佳 (73)	平成28年4月	総合教養Ⅰ-河内学-※						
兼任	講師	御前 由美子 (56)	平成29年4月	精神保健福祉援助技術各論Ⅰ 精神障害者の生活支援システム	兼任	講師	御前 由美子 (55)	平成29年4月	精神保健福祉援助技術各論Ⅰ 精神障害者の生活支援システム	社会福祉学科新規採用に伴い兼任に変更(28)
					兼任	講師	御前 由美子 (56)	平成29年10月	精神保健福祉相談援助の基盤(専門)	平成28年3月、寺田(田中)明代の退職に伴い担当科目を追加(29)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」,「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
10 名	5 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2)-② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
10	2	2	0	14	10	3	3	0	16	10	3	3	0	16
(10)	(2)	(4)	(0)	(16)						[0]	[1] +0	[1] +2	[0]	[2]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	3 名	3 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
1	准教授	渡部（神谷）敦子	必修	基礎ゼミナールⅢ	①	平成27年9月14日付で一身上の都合により退職届提出（28）		
			選択	学校心理学	①			
			選択	児童心理学	①			
			必修	心理アセスメント実習Ⅱ※	①			
			必修	心理学実践領域実習Ⅱ※	①			
			必修	研究演習Ⅰ	①			
			必修	研究演習Ⅱ	①			
			必修	研究演習Ⅲ	①			
合計（A）				後任補充状況の集計（B）				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）		
1 人	必修	7 科目	必修	7 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	2 科目	選択	2 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	9 科目	計	9 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1		【該当なし】				
合計（C）				後任補充状況の集計（D）		
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0 人	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（A）+（C）				後任補充状況の集計（B）+（D）				
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）		
1 人	必修	7 科目	必修	7 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	2 科目	選択	2 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	9 科目	計	9 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

平成27年9月14日付で渡部(神谷) 敦子准教授が退職届を提出したことに伴い、直ちに公募を通じて後任補充を行ったので、教育研究活動に支障は生じていない。なお、渡部(神谷) 敦子准教授の担当は2年前期以降の開講科目であり、平成28年度の科目担当者配置及び学生に対する影響はない。(28)

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成27年4月)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	留意事項 退職等による後任補充時に、教育課程を維持することを考慮し、専門領域、職位、年齢構成のバランスを勘案しながら補充を行う。後任補充に当たっては、公募、他学部他学科からの異動等も含め教育・研究業績、経験等を審査し適任者を確保するとともに、年齢構成の偏りがないよう中堅・若手教員の採用を視野に入れ、教育・研究の継続性を確保する予定。	
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年2月)		意見なし	

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<心理科学部 心理科学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
	【該当なし】

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 FD委員会（平成18年度～）※平成23年度より授業評価委員会（平成18年度～）を統合した。【別紙1】</p> <p>b 委員会の開催状況 全6回開催した。（定例4回＋臨時2回）</p> <p>c 委員会の審議事項等 FD活動の推進、授業改善の方策、授業評価、教員の研修計画立案・実施などに関連する事項を取り扱う。</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>1. FD委員会 (1) 学科の特徴や問題点を踏まえたFD活動の目標設定と実施 (2) 自己点検表による授業の自己分析の実施 (3) 兼任講師の教育活動表彰に関すること</p> <p>2. IR・FD・アドミッション推進室（旧、教育開発支援センター）【別紙2】 (1) 授業アンケートの実施 (2) 教員研修会の計画・実施 (3) 学外FD研修会への参加奨励（参加費・交通費の補助）</p> <p>b 実施方法</p> <p>1. FD委員会：学科毎のFD活動の取組み報告と、授業の自己分析実施の企画と遂行。授業アンケート結果より兼任教員の顕彰検討。</p> <p>2. IR・FD・アドミッション推進室：全教職員（主に専任）を対象に全学的なFDに関するプログラムを企画し実施する。</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p>

1. FD委員会

- (1) 学科で当該年度におけるFD活動計画を立案し第2回委員会でその内容を報告。第5回委員会での中間報告、第6回委員会での最終報告を経て、最終的に活動内容と成果を報告書にまとめ、全教員へ公開した。
- (2) 専任教員において、担当1科目を対象として春学期授業アンケート結果を参考に自己点検表を作成し、そのプロセスを通じて授業改善・振り返りを行う。
- (3) 5学科のFD活動の計画書でPDF冊子を作成し、学内の各種会議で報告を行った。
また、活動の報告書はPDF冊子を作成した。

2. IR・FD・アドミッション推進室（旧、教育開発支援センター）

- (1) 秋学期の授業アンケートの実施計画を立案し実施した。
- (2) 4月初めには教学方針の変更に関する研修会を行い、115名が参加した。併せて新任教員24名に対して教学について別途研修会を実施した。
- (3) 4つのテーマによるFDワークショップを実施し、120名が参加した。
- (4) 月に1回程度の頻度で専任教員向けに学内情報共有システム（サイボウズ）により学外研修会の案内を発信し、延べ15名の教員が参加した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

FD委員会では、学生の授業アンケート結果をふまえた自己点検表による授業の振り返りを行い、改善へつなげるプログラムを推進している。また、学科におけるFD活動の目標設定と実施を通じて、組織的な活動が展開できている。

IR・FD・アドミッション推進室では、教員の自己啓発に資する取組みとして重要と考えるテーマで研修会を開催している。
また、学生による授業アンケートを実施し、授業改善のための資料のひとつとして教員にフィードバックしている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

授業アンケートを春学期（6/2～7/27）に全524科目を対象に実施した。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケートを実施した全524科目の個人別・科目別結果は、担当教員に年度内にフィードバックした。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

【別紙3】

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

本学では、「自己点検・評価委員会」（以下「委員会」）を設置している。「大学自己点検・評価規程」により原則として、3年ごとに本学の教育及び研究、組織及び運営並びに施設及び設備等の状況について、全学的な自己点検・評価を実施している。全学的な自己点検・評価は、日本高等教育評価機構の定める基準を準用することとし、その結果は、学内教職員に共有するとともに、大学ホームページ上に公表している。

平成27年度は認証評価機関（日本高等教育評価機構）を受審しており、評価結果とともに報告書全文を平成28年4月にホームページ上で公表した。

なお、当該対象学部を含む自己点検・評価については、上記規程に基づき平成30年度に実施する予定である。

b 公表方法

従来より自己点検・評価結果は、全教職員で情報を共有すると共に大学ホームページ上でも公表している。当該対象学部を含む自己点検・評価結果は、報告書を刊行するとともに平成31年4月頃に大学ホームページ上での公表を予定している。

③ 認証評価を受ける計画

平成34年度までに認証評価機関（日本高等教育評価機構（予定））の評価を受ける予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成29年 7月 1日)